

2019年12月期 第2四半期決算 参考資料

I サマリー情報	P.1
① 経営成績	P.1
② 財政状態	P.1
③ キャッシュ・フローの状況	P.1
④ 設備投資の状況	P.1
⑤ 非資金項目	P.1
II 2019年12月期 第2四半期実績	P.2
① 四半期損益計算書	P.2
② 製商品別売上高	P.4
③ 研究開発の状況	P.5
III 2019年12月期 業績予想	P.6
① 損益計算書	P.6
② 製商品別売上高	P.8

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てて表示しております。

※ 本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

2019年7月31日



鳥居薬品株式会社

I サマリー情報

① 経営成績

2019年12月期 業績予想については、前回発表（2019年2月6日「2018年12月期 決算短信(日本基準) (非連結)」)の予想数値を修正しております。

(単位:百万円)	2018年12月期 第2四半期 A	2019年12月期 第2四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2018年12月期 実績	2019年12月期 修正予想 C	対予想 進捗率(%) B/C
売上高	30,551	20,684	△9,866	△32.3	62,551	40,800	50.7
営業利益	2,109	290	△1,818	△86.2	4,951	△700	-
経常利益	2,162	402	△1,759	△81.4	5,080	△400	-
四半期(当期)純利益	1,548	26,194	24,645	-	1,164	24,700	106.1
(参考)							
研究開発費	2,054	1,834	△220	△10.7	4,138	3,200	57.3
1株当たり四半期(当期) 純利益(EPS)	(円) 55.22	933.34	878.12		41.51	880.07	
自己資本四半期(当期) 純利益率(ROE)	(%) 1.8	26.2	24.4		1.3		
総資産経常利益率	(%) 2.1	0.3	△1.8		4.9		
売上高営業利益率	(%) 6.9	1.4	△5.5		7.9		
総資産四半期(当期) 純利益率(ROA)	(%) 1.5	20.8	19.3		1.1		

② 財政状態

(単位:百万円)	2018年12月期 A	2019年12月期 第2四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
総資産	103,253	148,583	45,329	43.9
純資産	87,092	112,852	25,759	29.6
自己資本比率	(%) 84.3	75.9	△8.4	
1株当たり純資産(BPS)	(円) 3,103.28	4,019.48	916.20	

③ キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)	2018年12月期 第2四半期 A	2019年12月期 第2四半期 B	増減額 B-A
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,077	48,865	45,787
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,254	1,705	14,959
財務活動によるキャッシュ・フロー	△716	△716	△0
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,003	65,508	40,504

④ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2018年12月期 第2四半期 A	2019年12月期 第2四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2018年12月期 実績	2019年12月期 修正予想
設備投資額	372	107	△265	△71.3	811	476
有形固定資産	282	80	△201	△71.6	660	185
無形固定資産	90	26	△63	△70.4	150	291

⑤ 非資金項目

(単位:百万円)	2018年12月期 第2四半期 A	2019年12月期 第2四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2018年12月期 実績	2019年12月期 修正予想
減価償却費	506	497	△8	△1.7	1,040	1,004
長期前払費用償却費	535	241	△294	△54.9	965	479

Ⅱ 2019年12月期 第2四半期実績

① 四半期損益計算書

(単位:百万円)	2018年12月期 第2四半期 A	2019年12月期 第2四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2019年12月期 修正予想 C	対予想 進捗率(%) B/C
売上高	30,551	20,684	△9,866	△32.3	40,800	50.7
製商品売上高	30,033	19,280	△10,752	△35.8	38,560	50.0
HIV感染症領域を除く 製商品売上高	20,072	19,280	△791	△3.9	38,560	50.0
腎・透析領域	11,665	8,965	△2,700	△23.1	18,060	49.6
皮膚疾患領域	4,519	4,562	42	0.9	8,420	54.2
アレルギー領域	1,348	2,942	1,594	118.3	6,320	46.6
その他	2,538	2,809	271	10.7	5,760	48.8
HIV感染症領域	9,961	—	△9,961	△100.0	—	—
その他の売上高	518	1,404	886	171.1	2,240	62.7
売上原価	15,836	9,784	△6,051	△38.2	19,800	49.4
製商品売上原価	15,809	9,705	△6,104	△38.6		
その他の原価	26	79	52	198.5		
売上総利益	14,715	10,900	△3,814	△25.9	21,000	51.9
販売費及び一般管理費	12,605	10,609	△1,996	△15.8	21,700	48.9
販管費(研究開発費除く)	10,550	8,775	△1,775	△16.8	18,500	47.4
研究開発費	2,054	1,834	△220	△10.7	3,200	57.3
営業利益	2,109	290	△1,818	△86.2	△700	—
営業外損益	52	111	59			
経常利益	2,162	402	△1,759	△81.4	△400	—
特別損益	△28	36,387	36,416			
税引前四半期純利益	2,133	36,790	34,657	—		
法人税等	584	10,595	10,011			
四半期(当期)純利益	1,548	26,194	24,645	—	24,700	106.1

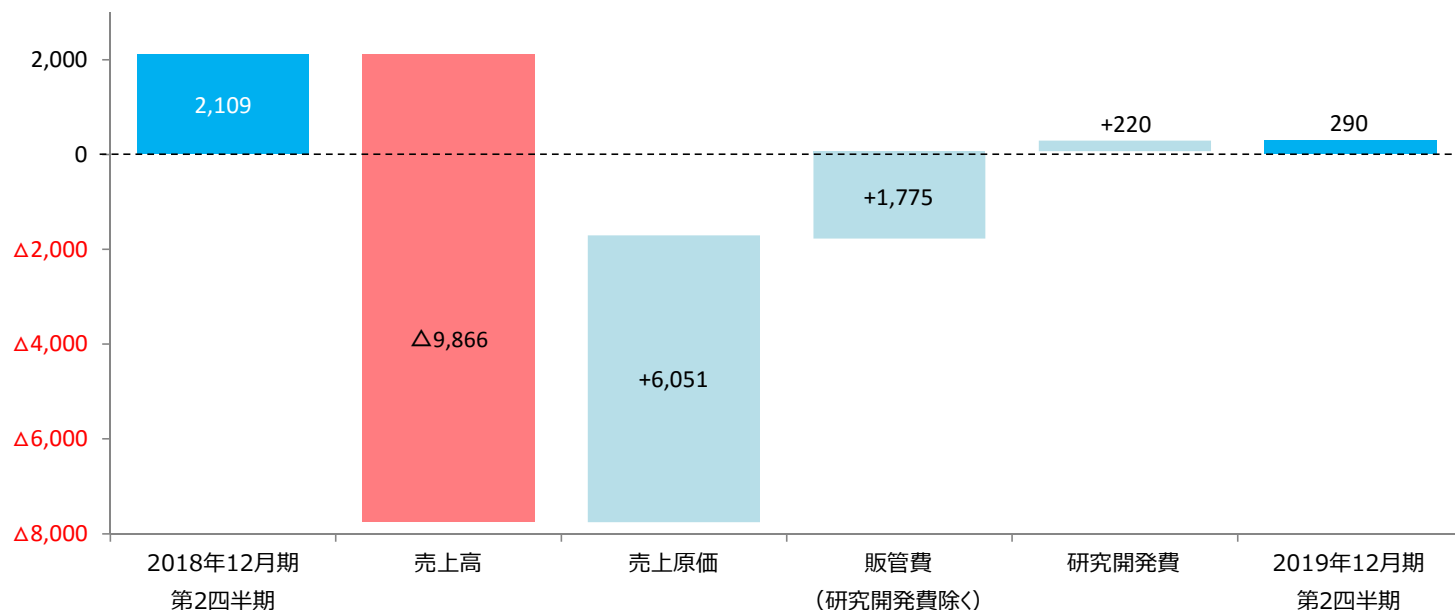
(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2018年12月期 第2四半期 A	2019年12月期 第2四半期 B	増減 B-A
売上原価	51.8	47.3	△4.5
販売費及び一般管理費	41.3	51.3	10.0
研究開発費	6.7	8.9	2.2
営業利益	6.9	1.4	△5.5
経常利益	7.1	1.9	△5.2
四半期純利益	5.1	126.6	121.5

【対前年同期増減要因】

営業利益（290百万円 対前年同期△1,818百万円）

（単位：百万円）



主な増減要因

売上高	: 抗HIV薬販売権の返還による減少、レミッチの後発品の影響による減少、アレルギー領域の伸長による増加 抗HIV薬流通手数料による増加 ※製商品別売上高の増減については次頁をご参照ください。
売上原価	: 売上高の減少
販管費（研究開発費除く）	: 販売促進費の減少、特別転身支援制度の実施等による賞与引当金繰入額の減少

経常利益（402百万円 対前年同期△1,759百万円）

特記事項：特になし

四半期純利益（26,194百万円 対前年同期+24,645百万円）

当期	抗HIV薬販売権の返還に係る譲渡益	40,614百万円
	事業構造改革費用(割増退職金等)	4,224百万円

② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2018年12月期	2019年12月期	増減額	増減率 (%)
	第2四半期	第2四半期		
	A	B	B-A	(B-A)/A
製商品売上高	30,033	19,280	△10,752	△35.8
HIV感染症領域を除く製商品売上高	20,072	19,280	△791	△3.9
[腎・透析領域]				
レミッチ	6,687	4,334	△2,352	△35.2
経口そう痒症改善剤				
リオナ錠	3,092	3,190	97	3.2
高リン血症治療剤				
ケイキサレート ※	946	948	1	0.1
高カリウム血症改善剤				
その他	939	492	△446	△47.5
計	11,665	8,965	△2,700	△23.1
[皮膚疾患領域]				
アンテベート ※	2,753	2,750	△2	△0.1
外用副腎皮質ホルモン剤				
ロコイド ※	780	858	78	10.0
外用副腎皮質ホルモン剤				
ゼフナート	680	678	△2	△0.3
抗真菌薬				
その他	304	274	△30	△10.0
計	4,519	4,562	42	0.9
[アレルギー領域]				
ミティキュア ダニ舌下錠 ※	386	1,089	703	181.9
ダニアレルギーのアレルゲン免疫療法薬				
シダキュア スギ花粉舌下錠 ※	17	952	935	-
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬				
シダトレン スギ花粉舌下液 ※	780	752	△28	△3.6
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬				
その他	164	148	△15	△9.6
計	1,348	2,942	1,594	118.3
[その他]				
ビオスリー	1,252	1,343	90	7.3
活性生菌製剤(整腸剤)				
その他	1,286	1,466	180	14.0
計	2,538	2,809	271	10.7
HIV感染症領域	9,961	-	△9,961	△100.0

※ 自社品

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2018年12月期	2019年12月期	増減	増減率 (%)
	第2四半期	第2四半期		
	A	B	B-A	(B-A)/A
自社品売上高	7,315	8,768	1,453	19.9
自社品比率 (%)	24.4	45.5	21.1	-

③ 研究開発の状況

開発番号 「製品名」	予定適応症等	剤形等	開発段階（国内）					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
腎・透析領域								
JTT-751 「リオナ錠」	鉄欠乏性貧血	経口剤			Phase III			<ul style="list-style-type: none"> ・Keryx Biopharmaceuticals, Inc.と日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結 ・日本たばこ産業(株)との共同開発（適応追加） ・日本たばこ産業(株)が2014年1月に高リン血症治療剤として製造販売承認を取得し、当社より販売中
JTZ-951	腎性貧血	経口剤			Phase III			<ul style="list-style-type: none"> ・日本たばこ産業(株)創製化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
皮膚疾患領域								
JTE-052	アトピー性皮膚炎	外用剤				申請		<ul style="list-style-type: none"> ・日本たばこ産業(株)創製化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結 ・日本たばこ産業(株)が2019年1月に製造販売承認申請
	小児アトピー性皮膚炎	外用剤			Phase III			<ul style="list-style-type: none"> ・日本たばこ産業(株)創製化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
アレルギー領域								
TO-203 「ミティキュア ダニ舌下錠」	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性喘息) (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠			Phase II / III 終了※			<ul style="list-style-type: none"> ・ALK-Abelló A/Sと日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ※今後の開発方針について検討中

前回公表時（2019年4月25日）からの変更点
変更はありません

（参考）

・当社と日本たばこ産業(株)が鉄欠乏性貧血患者を対象として効能追加の開発を進めております高リン血症治療剤「リオナ錠」（開発番号：JTT-751）につきまして、2019年7月、日本国内で実施中の第Ⅲ相臨床試験のうち、比較試験の速報結果を得ました。今回得られた速報結果では、有効性の主要評価項目において「リオナ錠」の対照薬に対する非劣性が確認され、安全性に関しては、「リオナ錠」の良好な忍容性が確認されました。なお、安全性評価項目のうち、悪心及び嘔吐に関する有害事象の発現率を評価した結果、それぞれ、「リオナ錠」は13.0%及び3.2%、対照薬は32.7%及び15.2%でした。

・当社と日本たばこ産業(株)が腎性貧血患者を対象として開発を進めております低酸素誘導因子-プロリン水酸化酵素（Hypoxia Inducible Factor Proly Hydroxylase, HIF-PH）阻害薬「JTZ-951（エナロデュスタット）」につきまして、2019年7月、日本国内で実施中の第Ⅲ相臨床試験のうち、透析導入前（保存期）の腎性貧血患者、及び赤血球造血刺激因子製剤（ESA）による治療を受けている血液透析施行中の腎性貧血患者を対象とした2本の臨床試験の速報結果を得ました。今回得られた速報結果では、両試験の有効性の主要評価項目において「JTZ-951」の対照薬に対する非劣性が確認され、また、安全性に関しては、「JTZ-951」の良好な忍容性が確認されました。

・2017年10月に日本たばこ産業(株)が、EirGen Pharma Limitedと慢性腎臓病患者における二次性副甲状腺機能亢進症（SHPT）治療薬であるcalcifediol徐放製剤（米国での販売名「RAYALDEE®」、OPKO Health, Inc.が開発及び販売）について、日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結した旨、また、製造販売承認取得後の販売については、当社が行う予定である旨、公表しております。

当社の親会社である日本たばこ産業(株)（うち医薬事業部門）とは、医薬品に関する製品及びサービスにおいて、各々の強みを生かし、当社は主に製造と販売の機能を担っており、親会社は研究開発の機能を担っております。なお、親会社の研究開発の状況は、日本たばこ産業(株)ウェブサイト上の「医療用医薬品臨床開発状況」をご参照ください。

<https://www.jti.co.jp/investors/library/business/briefing/index.html>

Ⅲ 2019年12月期 業績予想

2019年12月期 業績予想については、前回発表（2019年2月6日「2018年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」）の予想数値を修正しております。

① 損益計算書

(単位:百万円)	2019年12月期	2019年12月期	修正額	2018年12月期	増減額	増減率 (%) (B-C)/C
	前回予想	修正予想		実績		
	A	B	B-A	C	B-C	
売上高	38,000	40,800	2,800	62,551	△21,751	△34.8
製商品売上高	36,170	38,560	2,390	61,835	△23,275	△37.6
HIV感染症領域を除く 製商品売上高	36,170	38,560	2,390	40,386	△1,826	△4.5
腎・透析領域	16,270	18,060	1,790	21,991	△3,931	△17.9
皮膚疾患領域	8,420	8,420	-	9,126	△706	△7.7
アレルギー領域	5,670	6,320	650	3,803	2,516	66.2
その他	5,810	5,760	△50	5,464	295	5.4
HIV感染症領域	-	-	-	21,448	△21,448	△100.0
その他の売上高	1,830	2,240	410	716	1,523	212.7
売上原価	19,400	19,800	400	31,844	△12,044	△37.8
売上総利益	18,600	21,000	2,400	30,707	△9,707	△31.6
販売費及び一般管理費	21,800	21,700	△100	25,755	△4,055	△15.7
販管費（研究開発費除く）	18,500	18,500	-	21,616	△3,116	△14.4
研究開発費	3,300	3,200	△100	4,138	△938	△22.7
営業利益	△3,200	△700	2,500	4,951	△5,651	-
経常利益	△3,100	△400	2,700	5,080	△5,480	-
当期純利益	22,500	24,700	2,200	1,164	23,535	-

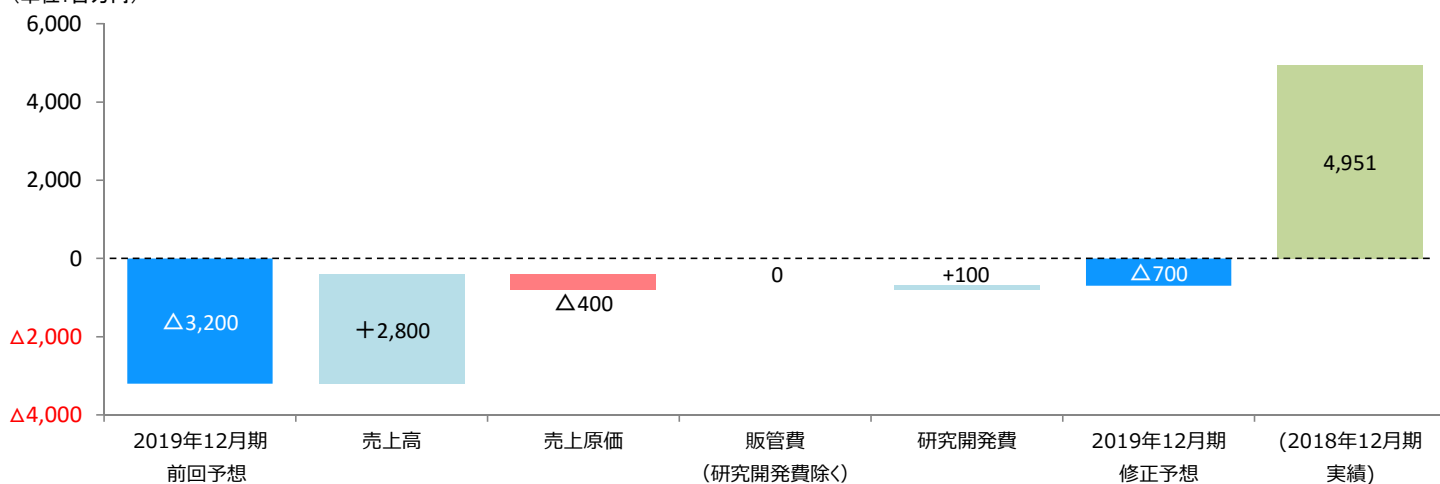
(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2019年12月期	2019年12月期	増減	2018年12月期	増減
	前回予想	修正予想		実績	
	A	B	B-A	C	B-C
売上原価	51.1	48.5	△2.6	50.9	△2.4
販売費及び一般管理費	57.3	53.2	△4.1	41.2	12.0
研究開発費	8.7	7.8	△0.9	6.6	1.2
営業利益	△8.4	△1.7	6.7	7.9	△9.6
経常利益	△8.2	△1.0	7.2	8.1	△9.1
当期純利益	59.2	60.5	1.3	1.9	58.6

【2019年12月期 対前回予想増減要因】

営業利益 (△700百万円 対前回予想+2,500百万円)

(単位:百万円)



主な増減要因

売上高 : レミッチの後発品の影響が下回ったことによる増加、ミティキュア ダニ舌下錠の伸長による増加
 ※製商品別売上高の増減については次頁をご参照ください。
 売上原価 : 売上高の増加、セールスマックス等による売上原価率の改善

経常利益 (△400百万円 対前回予想+2,700百万円)

特記事項：特になし

当期純利益 (24,700百万円 対前回予想+2,200百万円)

特記事項：特になし

② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2019年12月期 前回予想 A	2019年12月期 修正予想 B	修正額 B-A	2018年12月期 実績 C	増減額 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
製商品売上高	36,170	38,560	2,390	61,835	△23,275	△37.6
HIV感染症領域を除く製商品売上高	36,170	38,560	2,390	40,386	△1,826	△4.5
[腎・透析領域]						
レミッチ	6,450	8,230	1,780	11,598	△3,368	△29.0
経口そう痒症改善剤						
リオナ錠	7,150	7,150	-	6,603	546	8.3
高リン血症治療剤						
ケイキサレート ※	1,930	1,930	-	1,963	△33	△1.7
高カルシウム血症改善剤						
その他	740	750	10	1,826	△1,076	△58.9
計	16,270	18,060	1,790	21,991	△3,931	△17.9
[皮膚疾患領域]						
アンテベート ※	4,890	4,890	-	5,536	△646	△11.7
外用副腎皮質ホルモン剤						
ロコイド ※	1,570	1,570	-	1,541	28	1.8
外用副腎皮質ホルモン剤						
ゼフナート	1,450	1,450	-	1,454	△4	△0.3
抗真菌薬						
その他	510	510	-	593	△83	△14.1
計	8,420	8,420	-	9,126	△706	△7.7
[アレルギー領域]						
シダキュア スギ花粉舌下錠 ※	2,750	2,420	△330	405	2,014	497.1
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬						
ミティキュア ダニ舌下錠 ※	1,760	2,350	590	1,247	1,102	88.4
ダニアレルギーのアレルゲン免疫療法薬						
シダトレン スギ花粉舌下液 ※	850	1,250	400	1,859	△609	△32.8
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬						
その他	310	300	△10	291	8	3.0
計	5,670	6,320	650	3,803	2,516	66.2
[その他]						
ビオスリー	2,840	2,840	-	2,682	157	5.9
活性生菌製剤(整腸剤)						
その他	2,970	2,920	△50	2,782	137	4.9
計	5,810	5,760	△50	5,464	295	5.4
HIV感染症領域	-	-	-	21,448	△21,448	△100.0

※ 自社品

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2019年12月期 前回予想 A	2019年12月期 修正予想 B	修正額(率) B-A	2018年12月期 実績 C	増減 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
自社品売上高	16,350	16,960	610	15,855	1,104	7.0
自社品比率 (%)	45.2	44.0	△1.2	25.6	18.4	-